



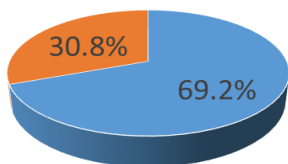
家庭における読書習慣

10月に保護者の皆様を対象に「家庭における読書活動に関するアンケート」を実施させていただきました。ご協力ありがとうございました。

このアンケート結果をもとに、11月14日(金)に、村長様をはじめ、村教育委員会、村内こども園・小中学校のPTA会長・副会長や園校長等が参加しての「平田村教育行政懇談会」が行われ、家庭・学校・行政における読書活動の推進について話し合われました。

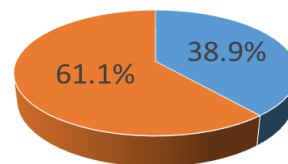
以下は、本校のアンケート結果です。

①水曜日は「ひらた読書の日」だと知っていますか。



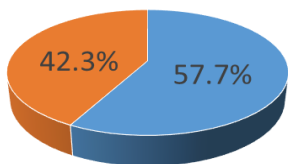
■ 知っている ■ 知らなかった

②お子さんは水曜日に「読書」(宿題の音読以外)をしていますか。



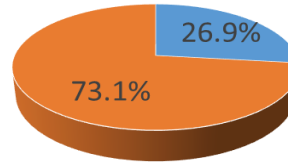
■ 読書をしている ■ 読書をしていない

③保護者も学校の本が借りられるとしたら、借りたいですか。



■ 借りたい ■ 借らない

④家庭で、お子さんが読書に関心をもったり、読書をする時間を確保するためにしていることはありますか。



■ ある ■ ない

約7割の家庭が「ひらた読書の日」を知っている一方で、家庭での読書習慣はあまり定着していない現状があり、他校でも同様の傾向が見られました。

「読書は大切です」とよく言われますが、読書は単に本の内容を知るためだけのものではありません。読書することで「読む力」「考える力」「感じ取る力」「想像する力」が育ち、それが全ての教科の学習の土台となります。

本校では、朝読書や図書館利用の活性化を図り、子どもたちが本と触れあう機会を大切にしています。しかし、読書の力は学校だけでは十分に育てきれません。「ひらた読書の日」を意識しつつ、一日10分でもよいので、ぜひご家庭でも、本に触れる時間を作っていただければと思います。保護者の方が読んでいる姿を見せることも、大きな励みになります。

本の世界に親しむことは、子どもたちの学力と心を豊かに育てる大切な一歩です。今後もご家庭と学校が連携しながら、読書習慣の定着を進めていきたいと考えております。

